

宮竹学区社会福祉協議会たより

あいさつ から つながり へ

つらなり

第18号

令和2年1月23日発行
宮竹学区社会福祉協議会
広報啓発部会

ご存知ですか 民生委員・児童委員のこと

民生委員・児童委員 櫻井 孝一

民生委員・児童委員（以下民生委員）は皆さんが住み慣れた場所で安心して住み続けられるようにお手伝いをする、地域福祉のボランティアです。

この制度は約100年の歴史があり、当初は貧困に苦しむ人たちの救済が目的でした。今日は生活が向上し長寿社会となりましたが、一方で家族や親戚などのつながり・自治会や近所のつながりなどが希薄となり、個人が孤立しやすい社会になっています。その結果、高齢者の一人暮らしや孤独死の増加、子どもの貧困や児童虐待など様々な新たな問題が発生しています。

民生委員は見守り活動をし、高齢者・障がい者・経済的に苦しい人・子育て世代など、支援を必要とする皆さんの身近な相談相手となり、幅広いネットワークで行政など関係機関につないで適切なサービスを受けられるようお手伝いをしています。私たちは福祉の専門家ではありませんが、皆さんのお手伝いをするために各種研修会や講演会に参加して見識を深め、毎月行う定例会では行政などの関係機関と情報交換や事例について話し合いをしています。地域福祉の推進役として民生委員児童委員協議会と社会福祉協議会は車の両輪に例えられます。私たちは社会福祉協議会に協力し高齢者サロン、子育てサロン、広報紙発行などを行っています。また歳末たすけあいの街頭キャンペーンや各家庭に援護金をお届けする活動もしています。毎年春に高齢者の家庭を訪問し様子をお伺いしてきました高齢者実態調査は、昨年までは一人暮らしを含め65歳以上の方だけの家庭でしたが、令和2年からは10歳引き上げられ原則75歳以上の家庭に変更にさせていただきますのでご了承ください。但し支援を必要とするご家庭は年齢にかかわらず訪問させていただきます。

民生委員は担当地域を持ち任期3年で活動しています。一斉改選により令和元年12月より、次の委員が自治会から推薦され新たに選任されました。私たちは準公務員として守秘義務がありますのでお気軽にご相談ください。

＝ 民生委員・児童委員 ＝

高松1丁目担当	佐野三恵子
宮竹1丁目	石田 雅幸(新)
敷地1丁目18番まで	山下 幹彦(新)
敷地1丁目21番以降	岩崎 雅代(新)
敷地2丁目	杉村 嘉彦(新)
下島北 220番地まで	未 定
下島北 221番地以降	森藤 益江
主任児童委員(学区全域)	石川富美江

高松2丁目担当	櫻井 孝一
宮竹2丁目	内藤 雅文(新)

＊(新)は新任民生委員。今年度から敷地1丁目、下島北が各1名増員となりました。



「ほっとひといき宮竹」にどうぞ

企画運営委員長 森藤 益江

当学区全体の高齢者サロン「ほっとひといき宮竹」は、毎月第二、第四水曜日の10時から昼前後まで宮竹1・2丁目公民館にて開催しています。

「ほっとひといき宮竹」は、あいさつから心に留め合える関係をつくり、お互いの異変に気づき、思いやりでつながりあえる場所の一つです。開会前に血圧測定で体調を知り、ゲームや体操で体を動かし歌で声を出し、お茶タイムで雑談をし、交通安全教室や薬剤師、保健師、介護士の話を通して元気に社会の一員として過ごせるように学習もします。宮竹小学校四年生との交流では思いやりあふれる工夫を凝らした手作りゲームなどで笑いがあふれ、高松こども園の園児さんのかわい訪問には思わず涙腺が緩んでしまいます。またボランティアのみなさんも明るくやさしい方々が多く、感謝しております。

これからも楽しんでいただけるメニューを考え工夫をしていきます。高齢者はどなたでも参加していただけます。お気軽にお越しください。



手足を伸ばす体操



園児の肩たたきに感激



4年生と輪投げを楽しむ

宮竹小学校親子清掃

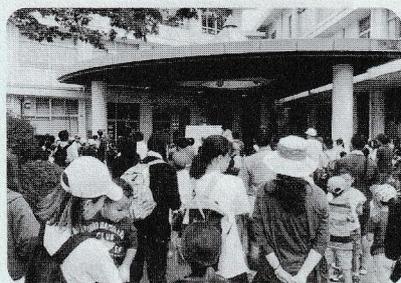
宮竹小学校PTA会長 新美 健一

昨年9月21日(土)に宮竹小学校で親子清掃を行いました。

台風17号が接近しており開催が危ぶまれましたが、雨に降られることも無く、保護者107名、児童133名が参加し、無事に終える事ができました。「親と子どもと一緒に学校をきれいにしよう」をスローガンに、グラウンドやたけっこハウス周辺の草取り、側溝の掃除を行いました。

今回は社会福祉協議会の方々にもご協力をいただき、生垣の清掃や木の枝の伐採も行い、今まで以上に子どもたちが学校生活を過ごしやすい環境づくりのお手伝いが出来たのではないかと思います。地域の皆様との交流が増えるのは子どもたちにとって良い事だと思っております。親子清掃にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

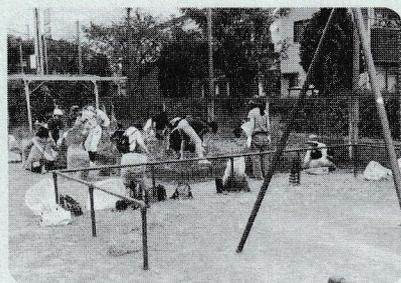
今後もPTA活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



参加者への事前説明



グラウンドの周りの雑草取り



遊具の周りもきれいに

交通安全委員会活動

学区交通安全委員会会長 福島 慎一郎

交通安全委員会では、宮竹小学校入学式で新入学児童への交通安全啓発から始まり、夏の交通安全親子大会の開催、年2回の自転車無灯火指導、カーブミラーの点検を行ってきました。年度末には宮竹小学校6年生の交通安全標語の立て看板の設置も行います。また毎月2回、交通安全の日と交通事故0の日に、朝の7時30分から小学生の通学路で、のぼり旗広報を行っています。

交通安全委員会は地域の交通安全意識の高揚のための広報啓発活動をすすめております。子供たちの登下校はもちろんですが、地域にお住いの方々の交通事故の無い暮らしを願い活動しております。しかし交通安全は住人たちだけではなく、この地域を通行する人たちも交通安全への意識向上が絶対的に必要です。つまり私たち全員が交通ルールを尊重し、思いやりのある行動を心掛けなければなりません。

「ゆずりあい」が交通安全活動の基本となるのではないのでしょうか？一人ひとりが安心して暮らせる社会であるために悲惨な交通事故が無くなるように、

交通安全思想の普及と浸透を図って参ります。

皆さんの安全を心からお祈りします。



新入学児童への呼びかけ



交通安全親子大会



自転車無灯火指導

“宮竹支え合い協議会” 準備会

宮竹支え合い協議会準備会会長 木下 俊也

宮竹学区では“宮竹支え合い協議会”新設に向けた準備会を立ち上げ、昨年から活動しています。“支え合い協議会”って何？と思う人が多いので簡単に説明します。

山間地や高齢者の多い地域では、「足腰の調子が悪く重い荷物が持てないため買い物に行けない」「地域とのつながりを持ちたいがどうしたら良いか分からない」などちょっとした困りごとのある方がいます。“支え合い協議会”は、このような方々を地域住民みんなの共助によって助け合い、皆で日常生活を楽しむことを目的にした地域活動のひとつです。

昨年、宮竹学区でこのような困りごとがないか、高齢者サロンや子育てサロンを訪ね、参加者に聞いてみましたが、特段の困りごとはないとのことでした。その理由は、この地域の高齢化率が18.3%（静岡市平均30.0%）と他の地域に比べて大変低く、若者の多い、高齢者サロンや子育てサロンが充実した地域だからです。

しかしながら、2025年には団塊の世代の方々が75歳以上になる超高齢社会を迎えます。私たちは今のうちに将来の暮らしを想定し、皆で支え合う住みやすい宮竹学区を今から皆さんと一緒に構築していきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



準備会の様子



通学見守りの木下さん

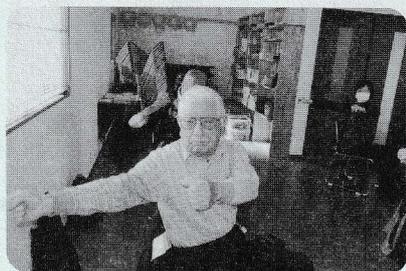
“しぞ〜かでん伝体操”に参加して

川合 睦男

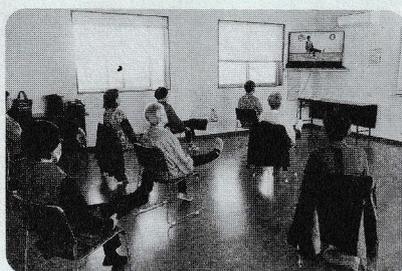
私が宮竹1・2丁目公民館で行われている「しぞ〜かでん伝体操」の会に参加させてもらったのが平成29年12月ですのでちょうど2年たちました。

「しぞ〜かでん伝体操」は高齢者を対象として自らの力で健康維持に取り組むもので、体操は無理をせずゆっくりと、呼吸をしっかりとすることをモットーとして行っています。また「しっかり歩きつまずきを防止する」「ふらつきが少なくなり、転倒を防止する」「きれいな姿勢で歩くことができる」などの効果が期待できます。

私はこの会に参加する前は運動をほとんど行っていませんでした。そのためしばしば体調不良を起こしていました。それがでん伝体操を始めて1年、体に張りが出てきて体調も良くなってきました。以前の体のふらつきや、ちょっとした段差でのつまずきもなくなりました。でん伝体操の効果だと思っています。毎週月曜日の参加を楽しみにしています。一緒に体操をやっている皆さんも良い人たちで「寒いねと話しかければ、寒いねと答える人の温かさ」そんな雰囲気を持っています。人生楽しく過ごして行きたいですね。



体操を楽しむ川合さん



ビデオを見ながら1、2、3、



約1時間を楽しく

日本平久能山スマートIC開通

令和元年9月14日宮竹学区の東側に静岡市の新たな玄関口として「日本平久能山スマートインターチェンジ（以下新IC）」が開通しました。構想から30年、工期3年での完成でした。

新ICの車両通行量はスマートインターとしては全国一の一日1万3,000台で、高速道路へのアクセスの向上、地域の活性化、医療機関への搬送時間の短縮、静岡IC周辺道路の渋滞緩和などの効果が期待されています。また新IC周辺は静岡市の大規模な街づくりができる最後の地域であり、市では新IC開通による交通利便性の向上を生かして、新IC北側地域を工業物流エリアに指定して企業を誘致。既に造成工事・企業募集が行われています。南側地域は実施が遅れていますが、静岡の魅力を外部に発信する交流エリアなどとなっています。新IC開通は私たちの地域だけでなく、静岡市にとっても大きな発展に向けた重要なステップになると思われます。（写真はNEXCO中日本提供）



令和元年9月14日開通式典



ゲート及び取り付け道路付近



北側から見た新IC全景